

くまきよしき

市政レポート

第2号

- 今年度予算が成立！
- 新しい取り組みも？
- 3月定例会報告！

高岡市議会議員

熊木 義城

くまき

よしき

27歳

成美小、志貴野中、高岡南高、立命館大卒
株式会社パソナグループ、
京都市議会議員秘書を経て
2021年高岡市議会議員選挙に当選。
現在1期目。会派「高岡愛」所属。

令和4年度予算が可決！ 角田市長新体制での初編成

目玉となった「財政健全化緊急プログラム」の終了！

高岡市の「予算」は、高岡市の事業の核そのものです。
令和4年度はどの事業に、どれだけのお金を振り分けるか、
その審議がこの3月定例会でおこなわれました。
中でも大きな話題となったのが
「財政健全化緊急プログラム」の終了についてです。

財政健全化緊急プログラムとは!?

高岡市は2017年末に40億円の財源不足に陥ったことを発表しました。そこで、高橋前市長は、この財源不足の40億円を「5年間」かけて解消するために、「財政健全化緊急プログラム」を策定しました。コミュニティバスの廃止、補助金カットなど、これまでの事業の見直しや、支出のやりくりを行い、当初計画を1年前倒した4年での計画達成に至りました。



熊木義城の
意見は...



この発表から、「結局のところ今の財政はどうか？」というご質問をいただきますが、「これまで貯金を切り崩さないと赤字だったのが、切り崩さなくてもやりくりできるようになったということ」とお答えしています。財源不足が解消されたことは大きな成果だと感じていますが、収入が大幅に増えたわけではなく、油断はできない状況です。私の所属する会派「高岡愛」では、引き続き健全な財政運営に努めてほしいということ、また、補助金カットをはじめ、これまでに市が縮小してきた事業が元に戻ることを期待する市民も多く、今後も市民へ向けた丁寧な説明をお願いしたいということを高岡市に要望しました。

そのほか令和4年度予算の注目トピックス！

市民会館の解体工事が はじまります



長らく市民の皆様へ愛された旧高岡市民会館の解体がはじまることになりました。私も志貴野中の合唱コンクールを市民会館で行った思い出があります。解体工事には2年で約6億円の予算が計上されており、うち5.5億円分は借金をして行われます。自治体が借金をすること自体は悪いことではないのですが、ほぼ借金を使用して解体するからこそ、未来につなげる、これを機にプラスに転じる跡地利用を実現しなければならないと感じます。統合になった小学校もそうですが、積極的に議論しなければなりません。

不妊・不育治療費助成の 予算が約2倍になりました



国の制度が変更になったことにあわせて、高岡市においても、不妊・不育治療のサービス拡大が実現しました。これまで年間2000万円ほどだった予算は、今年度から4198万円に増額。また、これまでは「市内に1年以上の居住が必要」という条件がありましたが、今後は引越したその日から助成の対象になるように条件が変わりました。同僚の嶋川武秀議員が12月の定例会で強く求めたことが反映されており、スピード感のある対応に感謝しています。

保育料や副食費など、 子育て支援が拡充します

私は高岡市の少子化に強い危機感を抱き、選挙でも最優先課題として訴えてきました。高岡で育つお子さまや若い世代が少なくなること、10年、20年後には地域の活力が大きく減少します。その状況を少しでも緩和するため、12月定例会では、第2子以降の保育料や副食費など、小さなお子さまをもつご家庭を対象にした支援の拡大を求めてきました。今回の新年度予算では、条件付きですが定住促進にも繋がる第2子の保育料の半額補助（市民税所得割57,700円～96,999円世帯）、副食費（園児のおかず、おやつ代）の補助など、支援拡充の動きがみられ、一歩前進ができたと考えています。しかし、不安の多い子育て世代へのサポートをさらに充実させるべきとお声もいただき、まだまだ解決すべきことはあるので、引き続きお声を集め、要望してまいります。



3月定例会での一般質問！

どう活用する？

旧富山銀行の赤レンガ建物について

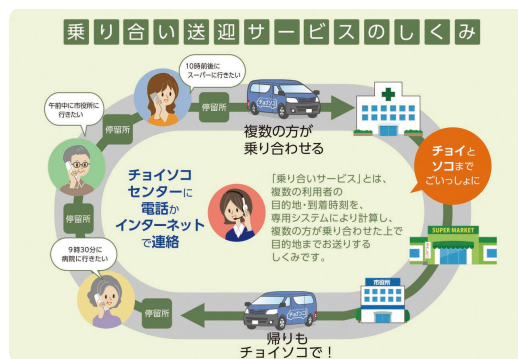
3月定例会では、「赤レンガ建物利活用調査事業について」を詳しく質問しました。

皆様は、赤レンガ建物と聞いてどの建物かすぐに思い浮かびますか？山町筋にある旧富山銀行の建物です。富山銀行本店が高岡駅前へ移転した際、歴史的な町並みのランドマーク的建物であることから、貴重な地域資源として、高岡市が無償で譲りうけております。赤レンガ建物は、大正期に建築された県内で唯一の本格的洋風建築であり、文化的価値は高いとして、高岡市はなんとか有効活用していきたいと考えています。この考えには賛同しますが、耐震基準を満たしていないことをどう解決するか、また、これまででもすでに6856万円の予算が赤レンガ建物の調査にかけられており、どう利活用していくか、方針をはっきりさせなければならないのではないかという想いで、質問をしました。

民間事業者と連携した 新公共交通の実験がスタート



令和4年度高岡市では、自動車部品や、カーナビなどを手掛ける株式会社アイシンが提供するデマンド型乗り合い送迎サービスシステム「チョイソコ」や、株式会社博報堂が開発したマイカー乗り合い交通「ノッカル」を活用した実証実験がスタートします。他自治体でも取り入れられている事例であり、高齢者や通学する学生が積極的に利用でき、コミュニティバス廃止以来の「地域公共交通の不足」という問題を解決するため、高岡市も動き始めています。私たち議員も、より市民の皆様が使いやすいと思っていただけるものになるように、注目していきます。



※画像：チョイソコHPより



令和元年度から令和3年度まで、計6856万円の予算が使われているが、これまでの「赤レンガ建物利活用調査事業」として行われた調査の結果は？

これまでは消防設備等の機能復旧工事のほか、「耐震診断業務」や、「保存活用計画の策定業務」などをおこなってきた。建物の耐震強度が不足することや、建物の外観だけでなく、天井部など、内部についても文化的価値が高いことが判明した。

今後の利活用の方針は？

文化財的価値を損なわず、民間活力を最大限活用することを基本とし、人が集い、交流を生む建物として活用したい。これまでの意見聴取をもとに、保存活用計画を取りまとめる。

市役所



このチラシを作成中の4月中旬に、赤レンガ建物についての保存活用計画について、また耐震補強計画についての新たな発表がありました。スペースの都合で間に合いませんでしたが、ブログ等で改めてお伝えしたいと思います。

その他今回のチラシに関するご意見・ご感想など、どんな内容でもお気軽にお問い合わせください！

☎0766-25-3861 ✉ y.kumaki26@gmail.com 💻 <http://kumakiyoshiki.com/>

自由民主党「高岡愛」所属 熊木義城

熊木義城瓦版第4号編集・発行人：熊木義城
933-8601 高岡市広小路7-50 高岡市議会 令和4年5月1日発行

討議資料

